

## 2013年度 建築生産セミナー

### 「こわす」技術と「のこす」技術ーストックとスクラップの境界の多様化ー

CPD 申請中

材料の高強度化や設備更新技術、免震技術の進化などにより建物の理論的耐用年数が延びる一方で、保存・補修技術や解体技術の進化など建物の社会的価値の多様化に合わせた技術革新により、ストックかスクラップアンドビルドかという判断の境界もまた多様化し、建物の運命は規模や築年数では決まらなくなりつつあります。本セミナーでは最新の「こわす」技術、「のこす」技術の事例紹介を通して建物の運命の多様化を考えたいと思います。また、基調講演として長年建物の寿命の研究をされている早稲田大学小松幸夫教授をお迎えし、お話をいただく機会を得ました。是非奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

主催：建築社会システム委員会 建築生産小委員会

日時：11月13日（水）14:00～17:40

会場：建築会館3階会議室（東京都港区芝 5-26-20）

#### プログラム（予定）

- |                            |                       |
|----------------------------|-----------------------|
| 司会                         | ：戸倉健太郎（三井住友建設／小委員会主査） |
| 1. 開会挨拶                    | ：戸倉健太郎（前掲）            |
| 2. 基調講演「建築と耐用年数」           | ：小松幸夫（早稲田大学）          |
| 3. 「超高層ビルの環境配慮型解体工法」       | ：市原英樹（大成建設）           |
| 4. 「タワー改修技術」               | ：西野啓介（竹中工務店）          |
| 5. 「歴史的建造物の保存・再生に関する技術の現状」 | ：林 章二（清水建設）           |
| 6. 「既存建物を活かした再開発事業（JPタワー）」 | ：齋藤隆司（日本郵政）           |
| 7. 閉会挨拶                    | ：戸倉健太郎（前掲）            |

参加費：会員 1,000 円、会員外 2,000 円、学生 500 円

（資料代含む、当日会場でお支払いください）

定員：50名（申し込み先着順）

申し込み方法：●Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=615>よりお申し込み下さい。

但し当日でも空きがある場合は参加可。

問合せ：事務局研究事業G 森田 TEL 03-3456-2051